

幼年教育研究部会

I 研究テーマ

「いきいきとともに育つ子どもをめざして」

II 研究テーマ設定の理由

近年、子どもたちが育つ環境は社会状況や生活様式の変容とともに、大きく変化してきている。少子化、核家族化、地域の教育力の低下などにより、家庭はますます孤立し、不安や閉塞感の中で子育てに悩んだり、放棄したりする保護者も増えている。

このような子どもを取り巻く現状を反映してか、集団の中で人間関係が上手に築けない、集中力に欠け、落ち着いて物事にとりくむことができない、情緒不安定になり、ちょっとしたことでパニックを起こすなど、「小一プロブレム」に象徴されるような問題も、だいぶ前から取りざたされている。そして、保幼小連携の重要性がさげられる中、各学校に応じたとりくみがなされてきているが、課題を多く含んでいるのが現状である。

本部会ではこれまで、子どもたちが互いに理解し、関わり合う中で育っていくという考え方に立ち、いきいきと伸びやかに生きる子どもたちの姿をめざしつつ、子どもたちの育ちをどう支えていけばよいかを実践し、学び合ってきた。また今年の夏休みには、部会員が保育士体験を行い、実際に保育園児と関わったり、保育所の職員と懇談をしたりして、あらためて連携の大切さと難しさを感じることとなった。

そこで今年度は、就学前の子どもたちや保護者に対して、小学校の教職員として何ができるのか模索していきたいと考えた。そのとりくみが小学校への段差を少しでもなだらかなものにし、就学後も子ども達が楽しく学校生活を送れるであろうことを期待して、上記のテーマを設定した。

III 研究経過と内容

1 研究経過

4月10日	第1回研究会	今年度の部会運営について
5月15日	第2回研究会	研究計画について
6月17日	第3回研究会	小学校紹介の台本作り
8月7日	第4回研究会	小学校紹介の台本作り
8月20日	第5回研究会	小学校紹介の練習及びビデオ撮り
9月4日	第6回研究会	小学校紹介の練習及びビデオ撮り
10月2日	第7回研究会	県教研報告レポートの検討
11月4日	第8回研究会	県教研還流報告

2 研究内容

○小学校紹介を通して

甲運小学校と甲運第一保育所は隣接していて、園児の多くが甲運小学校へ入学することもあり、保幼小連携がよい形で進められている。それでも、小学校での生活や教職員に対して不安を抱えていることが、昨年度行った保育士体験の懇談の中から明らかになった。そこで、甲運第一保育所の年長児を対象に、甲運小学校の生活の様子を知らせるビデオ作りをすることにした。それに際しては、小学校の立場として知らせたいことだけでなく、保育所の職員の協力を得る中で、保育所の立場から知りたいことも盛り込んでいくことにした。また、出演は部員自らが行い、園児にわかってもらうためにはどういう言葉をつかい、どういう動きをすればよいか、試行錯誤しながら作っていくことにした。

○学校紹介DVDができるまで

第3回研究会 小学校の様子のだんなことを教えたいかについての洗い出し。

第4回研究会 小学校紹介DVDの台本作り

- ・題名「てるちゃんの1日」
- ・対象 甲運第一保育所の年長児
- ・場面 ①朝の教室 ②授業 ③給食
④掃除 ⑤帰りの教室

【甲運第一保育所の職員にできた台本を読んでもらい、いただいたアドバイス】

* 困ったことがあった時に、どうしたらいいのか分かるといいと思う。

* 給食の場面の時間が、時計などを使って、視覚的に分かるようにしてもらいたい。

第5回研究会 小学校紹介DVDの練習及びビデオ撮り

- ・アドバイスをもとに、台本の修正
修正後の場面 ①朝の教室 ②授業 ③休み時間の出来事
④給食 ⑤掃除 ⑥帰りの教室
- ・寸劇の練習とビデオ撮り

第6回研究会 小学校紹介DVDの練習及びビデオ撮り

- ・寸劇の練習とビデオ撮り

【甲運第一保育所の職員に編集したビデオを見てもらい、いただいた感想】

☆視聴日時 平成26年9月30日（火）

☆視聴者 甲運第一保育所 所長・主任・年長児担当職員 3名

☆感想 ○小学校の1日の流れが、とても分かりやすかった。

- 困ったときにどのように先生に伝えればいいのか、ボールのとりっこによるトラブル場面は、よくあることなので、分かりやすかった。
- 給食時間を示してくれたので、保育所や、家庭において意識しながら食べる練習をすることができる。
- 机の中への入れ方を「おとまりのへや」（置いていく物）「おかえりのへや」（持ち帰る物）の表示を示して説明があったのは、とても分かりやすかった。
- △正しい行動と、直さなければならない行動の授業場面があったが、ナレーションだけでなく、テロップなどで目で見ても分かるようにしてあると、親子で見たときにより分かりやすい

IV 研究の反省と課題

- 昨年の保育士体験の折に、保育士より保護者の小学校入学時の不安や戸惑いがあることを聞き、それらを解消するための方法について考えることができた。
- 幼年教育部会としてできる保幼小連携の取組の一環として、小学校の紹介DVDを制作することができた。
- 小学校入学時に大切なことは何かを考えながらDVDを作成することによって、自分たちの指導について振り返ることができた。
- DVDのシナリオを作成する過程で、保育所からの意見や要望を取り入れながら、保育所側の期待にそう内容に仕上げることができた。

【課題】

- よりよい接続を図るため、できるだけ多くの保護者や年長児に見てもらいたいと考える。しかし、その機会を生み出すことが、なかなか難しい状況にある。県教研での発表を通して、他都市の先生方からいただいた意見を参考にしながら、実際に試していくことが残された課題となっている。
- このDVDは、平成27年1月22日の甲運第一保育所の年長児保育参観で視聴する機会を設定してもらい、「大まかな学校の流れがわかってよかった。」という感想をいただいた。その一方で、「もう少し説明がほしい。」「良い例と悪い例を区別した方が分かりやすかった。」という感想もいただいている。そういった年長児とその保護者の実際の反応を、今後の研究にどう生かしていくかが大きな課題となる。また、DVDを見た年長児が小学校に入学して、本当に役立つ物になっていたか、検証していく必要もある。